



地域とともに あなたに寄り添う 民生委員・児童委員

民生委員・児童委員 豆知識

★民生委員・児童委員マーク



このマークは昭和35年に公募で選ばれたもので、幸せのめばえを示す四つ葉のクローバーをバックに、民生委員の「み」の文字と児童委員を示す双葉を組み合わせ、平和のシンボルの鳩をかたどって、愛情と奉仕を表しています。

★活動スローガン

昨年、民生委員制度100周年を迎え、これからの民生委員・児童委員活動に関するスローガンとして決定した「支えあう 住みよい社会 地域から」を合言葉に全国の民生委員・児童委員は活動しています。

★約9割が活動に「やりがいある」と回答

市内の民生委員・児童委員全員を対象にしたアンケートによると、約9割の委員が活動にやりがいを感じていると回答しました。



支える

高齢者・子育てサロンなど地域づくりや交流の場にも参加し、地域のつながりを強めるお手伝いをしています。



つなぐ

研修を通して知識や連携を深め、相談内容に合った福祉サービスや関係機関につなげています。



見守る

福祉の相談に応じているほか、高齢者で一人暮らしの方や生活に不安のある方などへの定期的な訪問を行っています。

■民生委員・児童委員ってどんな人？
民生委員は、民生委員法により厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で、児童福祉法による児童委員も兼ねています。その中でも、子どもや子育てに関する支援を主に担当する委員を主任児童委員といいます。

民生委員・児童委員は、自治会の推薦などにより市民の中から選ばれ、ボランティアで活動を行っています。市には現在244人の民生委員・児童委員（うち主任児童委員17人）がおり、茨城県では約5,200人、全国では約23万人の委員がそれぞれの地域で活動しています。

■福祉の心配ごと、悩み事を
ひとりで抱えていませんか？

- 高齢で暮らしに不安がある
- 障害や病気があり、生活に困っている
- 育児や子育ての悩み など

民生委員・児童委員には民生委員法に定められた守秘義務があり、相談内容と相談者の秘密は守られますので安心してご相談ください。

ご自分の地域の民生委員・児童委員が分からない場合は問い合わせください。

【問合せ】社会福祉課の内線7202、3



今日もニコリ 「こんにちは」

民生委員・児童委員(主任児童委員)
小針和美さん

先日、スーパーでヨチヨチ歩きの子と目が合い、ジッと見つめるつぶらな瞳に思わず「こんにちは。あんだよ上手ね」と声をかけました。彼女は、ちよつと固まってニッと笑い、そばにいたお母さんもニコリと笑っていました。一瞬の何気ない出会いかもしれませんが、私は明るく朗らかに挨拶することを心がけています。

「主任児童委員」は、その制度があまり知られていませんが、子育て中の方を応援しています。地域の中で子育てサロン等も開いていますので、お気軽にお子さんと一緒に遊びにいらしてください。そして一緒に子どもたちの成長を喜び合いましょ。

また、私たちは、学校や専門機関と連携し、皆さんのお話を聴いて必要な支援に結びつける橋渡しの役も担っています。困りごとや悩みごととはひとりで抱え込まないで、勇気を出してそつとお話ください。皆さんが和やかな未来に向かえるよう寄り添います。今日もニコリ「こんにちは」。



だれもが笑顔で 生活できる お手伝い

民生委員・児童委員
西宮秀樹さん

私の住んでいるエリアは、他の地区と比べて人口密度が高く都市開発も進み、転入者が増えています。一人暮らしの高齢者も増加し、特にマンション住まいの方は孤立しやすい環境にあります。このような環境の中、自治会の役員を兼務しながら、昨年末から民生委員・児童委員となりました。これまで福祉に関して学んだ経験はありましたが、いざ現場での対応となると戸惑いも多々ありました。そんな時、地区の先輩方の的確なアドバイスには何度も助けられました。実際の問題に深く関わり、福祉をより身近に感じられたことで世界が広がり、生きがいも感じています。

今後は高齢化が進みますが、安心安全なまちづくりを目指して、行政や自治会と協力しながら、誰もが笑顔で生活できるようなお手伝いをしていきたいと考えています。これからも福祉に携わる者としてアンテナを広げ、小さな力ではありますが、地域に寄り添っていきたくです。